



祝 辞

一般社団法人 日本建築構造技術者協会 九州支部
支部長 今林 光秀

福岡県建築鉄骨協議会創立 20 周年、誠におめでとうございます。

建築鉄骨に関わる関係団体・行政機関・研究者による貴協議会はとても有益な場であり、JSCA 九州支部からも多数参加させて頂き、心より感謝申し上げます。これからも、産・学・官の連携を高めて福岡県の建築鉄骨に関わる全ての方々と共に歩み続けて行きたい所存です。

現在、我々は 20 年前には想像もつかなかったような時代の変革点にあります。日本の人口減少は進み、建築をつくることの哲学がこれまで以上に問われ、我々構造技術者もその哲学を社会および発注者に発信しないといけない時代です。人口が減るのだから新築建物の数は減少すると考えるのが普通です。これまでは単体の建築であったものが施設の合理化により複合化し、新築棟数は減る傾向にあります。昨今見受けられる小中一体校や公共施設の複合建築化はその証です。また、CO2 排出量削減や SDGs など、環境や人間らしさに貢献する建築が求められ、さらに、良質な既存建物の有効活用や新築建物の長寿命化も大切な視点です。

そして、急速に進化している AI の問題があります。構造設計の仕事は将来的に AI に取って代わられるのではないかと言う話も聞きます。それは、構造設計とは何かと言う問いかけです。建築とは純粋に人間的行為です。AI と共存し、取って代わられることのない、人間にしか創造し得ない設計を行うと信じます。目先の技術だけではなく、哲学を持った付加価値の創造にあると考えています。構造の力が建築そして社会をより良くするという気概を持ちたいものです。

このような時代の変革期の中で、我々構造技術者はどうあるべきか。それには、構造の中だけで閉じるのではなく、建築設計・設備設計や施工そして学術などと広くかわりを強くすることが大切と考えます。協議会を通してこのような活動も高めて行ければ幸いです。

福岡県建築鉄骨協議会の益々の発展をお祈りして、祝辞とさせていただきます。